



沖縄国際大学 FD通信

発行者：沖縄国際大学 教務部長（2011年2月7日）

1. 学外講師を招聘し、第2回FD研修会を開催しました。

1月28日（金）、「大学における「授業評価」を考える」というテーマで、第2回FD研修会を実施しました。

今回の研修は、「FD支援プログラム」指定プロジェクト（「授業評価アンケートの改善：疑心から活用へ」）の一環としても開催され、高等教育の理論と豊富な実践・知見を有する講師をお迎えして、プロジェクトの成果をより充実したものにするを目的に企画されたものです。

内容は次のとおりです。

【プログラム】

（事例報告）

- （1）田中岳氏（九州大学教育改革企画支援室准教授）
「大学教育における学生からの評価の在り方について」
- （2）江島定人氏（九州大学学務部学務企画課課長）
「大学における評価の制度設計事例について」

教職員15名が参加し、それぞれの事例報告後の意見交換では、活発な議論が行われ、プロジェクト内で議論されている制度設計の際の留意点や、コンセプト自体に内在する問題点に対する発見がありました。

本研修会の模様は、Q-Links ブログにも掲載されています。

<http://www.qlinks.kyushu-u.ac.jp/blog/?p=3444>

また、今回、参加して下さった教職員の声です。
回答してくださった皆さんありがとうございました。

- ・評価の考え方・方法を整理し、吟味するたたき台を呈示することの意味は大きい。
- ・授業評価・改善の情報源には色々あることを知って勉強になりました。
- ・授業評価アンケートに頼りすぎず現場主義で考えていくことの重要性を確認できた。
- ・「組織」として「みんなで」取り組むという姿勢に共感できました。

本学でFD研修会は、今年度から始まったばかりです。今後、取り組んで欲しい企画があれば、教学課までご連絡をお待ちしています。



！授業評価アンケートは、2月10日までです。お忘れ無く！

2. 第2回SD研修会（第5回Q-place）を開催しました。

1月28日(金)に、Q-Linksの協力を得て、各地におけるQ-Linksメンバーシップの「学び合い」の広がり支援を目的で、「第5回Q-place(プレイス)」を兼ねて、教務・学生支援系職員のためのケーススタディ研修を、第2回SD研修会として下記の通り開催しました。

『大学職員として学生と向き合う時—あなたならどうする?—』というタイトルで、実話に基づいた2つのケースを用いて、ダイアログ(対話)やロールプレイングの手法を用いたワークショップを開催しました。

学生支援に必要なスキルや判断基準を相互に学び合う機会となり、本学以外に琉球大学、名桜大学、九州産業大学から合計24名の参加がありました。

進行役は、Q-Links事務局から小貫有紀子氏(九州大学・教育改革企画支援室・特任助教)をお招きして、次のとおり行いました。

- 1 開会
- 2 主旨説明、自己紹介・交流
- 3 学習目標の確認
- 4 ウォーミングアップ(ダイアログの練習)
- 5 ケーススタディ(1)
休憩
- 6 ケーススタディ(2)
- 7 全体でのふりかえり
- 8 閉会

本ワークショップの様子は、Q-Linksブログに掲載されています。

<http://www.qlinks.kyushu-u.ac.jp/blog/?p=3429>

近年は、福祉や心理の分野だけではなく、高等教育においても、ダイアログによるワークショップが増えてきています。

本学では、ダイアログを用いたSD研修は初めての開催でしたが、今後は、ダイアログのノウハウを活用し、様々なワークショップを開催していく予定です。

